（別添資料１）

事業所名　児童発達支援　すみれ下土狩教室

支援プログラム

作成日　2026 年 2 月 5 日

法人（事業所）理念		**スタッフの笑顔が子供とその家族の笑顔を作る。笑顔の連鎖を作り地域社会に貢献する。**									
支援方針		**・笑顔で安心して過ごせる居場所となり、身辺自立を促し小集団で過ごすことでコミュニケーション力を学んだり、思いやる気持ちが芽生えるような支援を行う。**									
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで （※サービス提供時間は9:00～13：00）							送迎実施の有無	あり　なし	
		支　援　内　容									
本人支援	健康・生活	**目的** 身の回りのことを自分でできるようにする。生活力を身につけよう！ **どのように？** 生活する中で自分でやってみようという意欲を引き出すため、必要であれば声掛け、援助を行い見守りながら支援を行う。ひとりひとりのペースを大切にします。 **療育詳細** 手洗い・着替え・持ち物管理・片付けなど身の周りの整理整頓・食事マナー・避難訓練・来所時の支度、生活の流れの理解									
	運動・感覚	**目的** 粗大運動微細運動を遊びの中で経験し生活に必要な身体機能を向上させる。好きな遊びを見つけて自分を表現しよう！ **どのように？** 日々の遊びの中で体を使った遊びや工作の時間を作り楽しみながら全身を使う機会を増やしていく。 **療育詳細** 散歩・外遊び・サーキット・トランポリン・ひらひらキャッチ・ボール転がし・滑り台・はさみ・のり・折り紙									
	認知・行動	**目的** 声掛け以外の情報（動き、写真、動画、掲示物、時計）をヒントにして場所、時、状況に応じて自ら行動する力を身に着ける。 季節による自然や人の生活に変化があることに気が付き、不思議さや面白さを感じよう！ **どのように？** 場面に合った声の大きさや次の活動への見通しなど絵カード等を利用して伝え理解を広げていく。 文字や数字を遊びやルールにも導入（かるた、トランプ、）して、活動に面白さを感じ興味をひろげていく。 季節の行事を楽しめるイベントの開催や、実際に散歩に出かけて四季を体を通して感じていけるようにする。 **療育詳細** 交通ルールの指導・声の大きさ・ひらひらキャッチ・風船バレー・頭巾取りゲーム・時間管理・掲示物・絵カード・かるた・絵合わせゲーム									
	言語 コミュニケーション	**目的** 自分の気持ち要望を言葉で伝え、友達の言葉に興味を持つ。安心して発言ができる環境で気持ちを言葉にしよう！ **どのように？** 先回りの支援は行わず児童の自発的な発言を促します。 子どもの同士の関わりを見守ることを意識しつつ必要なところでは仲立ちに入り代弁などの援助を行う。 日々の生活で感じた様々なことを聞いてもらえる場を作り、共感の心地よさを体験する。 **療育詳細** 「今日楽しかったこと」「今なにしたい？」「これなあに？」など発言の機会を保障する声掛け・読み聞かせ・見立て遊び・ごっこ遊び									
	人間関係 社会性	**目的** 自分を大切にし、となりにいる人も大切にし、ともに心地よく過ごす気持ちよさを知ろう！ **どのように？** 自分の気持ちと　他者の気持ちの違いに気づき、調整の過程を体感する。 同じものごとに興味がある子と　共に遊ぶ喜びを経験を増やしていく。 お願いする、待つ、譲るなどの経験を　心地よいものとして記憶できるよう経験する。 **療育詳細** 挨拶・接触遊び・声の大きさ・声のトーン・ごっこ遊び・カードゲーム・順番を待つゲーム									
家族支援		ご兄弟の相談も含め、傾聴を大切にする。健康状態に合わせて送迎の調整など適切な支援を努める。 お子さんの情報を送迎時やケース会議、LINE、コドモンなどのアプリを使い随時共有していく。							移行支援	園や学校、他事業所など関係機関との情報共有や連携調整。 進路や就学先についての相談援助や準備支援。	
地域支援・地域連携		町の支援者の会議に参加。相談員さんとの連携を軸に　自治会行事などに参加する。							職員の質の向上	研修と申し送り（情報の共有）、会議や講演会への参加。	
主な行事等		季節の行事（水遊び、いもほり等…）、他教室との共同遊び、おでかけ（公園、牧場、科学館）									